

# 会 議 録

第2回定例会

開会 平成28年4月26日

## 教育委員会会議録

- 1 開 会 平成28年4月26日 午後2時
- 2 閉 会 平成28年4月26日 午後2時50分
- 3 出席委員 教育長 美馬 持仁  
委 員 松重 和美  
委 員 坂口 裕昭  
委 員 西 泰宏  
委 員 田村 典子  
委 員 三牧 千鶴子
- 4 出席者 副 教 育 長 木下 慎次  
教 育 次 長 森本 俊明  
教 育 次 長 栗洲 敬司  
コンプライアンス推進室長 宮井 玲夫  
教 育 創 生 課 長 藤井 博  
学 校 教 育 課 長 後藤 浩代  
教 育 政 策 課 長 東條 正芳  
教 育 政 策 課 副 課 長 木野内 敦

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[議 事]

教育長 議案第7号及び報告事項1を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 そのように取り計らうこととし、議事に入ることを告げる。

《議案第4号 徳島県教育委員会公印規程及び徳島県教育委員会文書規程の一部を  
教育長の臨時代理により改正したことの承認について》

教育長 説明を求める。

教育政策課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

特になし。

教育長 議案第4号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第4号を原案どおり決定する旨を告げる。

《報告事項2 平成28年度徳島県公立高等学校入学学力検査集計結果について》

教育長 説明を求める。

教育創生課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

三牧委員：理科・数学が弱いのか。

教育創生課長：基礎的・基本的な知識や技能をみるだけでなく、問題解決を行うための思考力・判断力・表現力をみる文章題も入っている。

三牧委員：国語は良い。

教育創生課長：読み書き現代仮名遣いの問題などの正解率が高い。日常での言語生活から意識させた基礎的・基本的な知識の定着が図られているのではないかと思う。

松重委員：受検者がほぼ合格という点からすると、グラフの左の方の得点率10～20%の生徒も入学しているのか。

教育創生課長：そうである。高校での学習をしていく上での必要な学力を考えながらの出題だが、一方で全国学力学習状況調査もにらみながらの出題としている。従って、得点率が低いので中学の学力がついていないということではない。

教育長：入試なので、得点層もきちっと分かれ、力の差が出るように問題を作らなければならない。もう一つは、全国学力学習状況調査が目指す学力観に近いような出題形式、単に知識だけでなく思考力・判断力・表現力、必要な情報を読み取る力も入れた。

三牧委員：数学の問題でも文章題が多く、問題を読んで最後まで辿り着けられれば簡単な問題だが、解答に至るまで辿り着ける人が何人いるかと思う。

教育長：勿論、全部がそういう問題ではなく、基礎力だけで解ける問題もある。

三牧委員：学力観を全体的に変えていこうという動きもあるのか。

教育創生課長：高校入試が最終目標ではないので、将来のキャリア教育を目指して、必要な知識技能を身に付けていかなければならない。

三牧委員：点数的に低いと思っても方向的にはあるべき姿に向かいつつあるということか。

教育創生課長：今回平均点が下がっているが、今回の生徒の学力が下がっているというのではなく、新たな傾向の問題があったのでこういう結果になった。

田村委員：入学学力検査のことではないかもしれないが、主権者教育に繋げていくために社会科をもっと好きになるようにして欲しい。

三牧委員：国語の問題、数学の問題というのではなく、総合的な問題で子どもたちの学力を調べる機会があっても良いと思う。

教育長：昔、前期・後期選抜のときの前期選抜で総合問題もあったが、作成するのが難しかったり、基礎的な部分も聞かなければならないので、現在の入試の形

になっている。

坂口委員：理科が難しかった。前年度に比べ16.4点低い。過去の平均は、大体10点以内の差である。特に今年は難しかったのか。

教育創生課長：今回は、実験とか観察結果について文章によって説明させたり、地学の問題では空間的位置関係を説明する問題が難しかったかと思う。

坂口委員：学力調査のテストなら、結果をベースに傾向を分析・対策すると思うが、入学学力検査でも同様のことをするのか。

教育創生課長：全受検生の分析はできないが抽出によって分析をし、今後の中学校での指導や高校入学後の教育に活かしていただく予定である。

坂口委員：分析をし、弱点に力を入れることによって、高校3年間での成績アップが考えられる。

教育長：高校入試は全国学力学習状況調査と目的は違うが、ある意味この形式の問題が解けるようになって欲しいという中学校へのメッセージになればと思う。

西委員：高校卒業時、企業側は採用の際何を見るかという、5教科以外をみる。

高校に入ってからコミュニケーション能力、チームワーク、リーダーシップとかが重要である。ほとんどの企業は成績をそんなに見ない。学校教育としても、人間関係の構築など違うところにも力を入れていかないといけないのではないか。

森本次長：県の方でもキャリア教育を教育振興計画にも書いている。企業にお世話になりながらインターンシップ等の取組みもやっており、社会の中で生きていく力をつけていく取組みも行っている。今後も頑張っていていく。

教育長：入試においても学力だけでなく、中学校の調査書も考慮しているし、面接もしている。

三牧委員：理科の実験なども十分できていないのではないかと。時間数の割に教科書の内容が多すぎではないか。何が原因でできないのか。やはり実験問題は弱いのか。

教育長：皆が皆ではないが実験とかイメージしたりするのが苦手だったりするようだ。

《議案第5号 平成29年度使用教科用図書に係る徳島県教育委員会の基本方針について》

教育長 説明を求める。

学校教育課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

特になし。

教育長 議案第5号を原案どおり決定してよいかを諮る。  
各委員 異議なし。  
教育長 議案第5号を原案どおり決定する旨を告げる。

《議案第6号 徳島県教科用図書選定審議会への諮問事項について》

教育長 説明を求める。  
学校教育課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

特になし。

教育長 議案第6号を原案どおり決定してよいかを諮る。  
各委員 異議なし。  
教育長 議案第6号を原案どおり決定する旨を告げる。

[非公開]

《議案第7号 徳島県教科用図書選定審議会委員の任命について》

《報告事項1 公益通報の受付・処理状況（平成28年1月～3月分）について》

[閉 会]

教育長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉 会 午後2時50分

